



IRCサーバ相互接続公開実験

98/12/17

INTERNET MULTIFEED CO.



実験の背景と目的

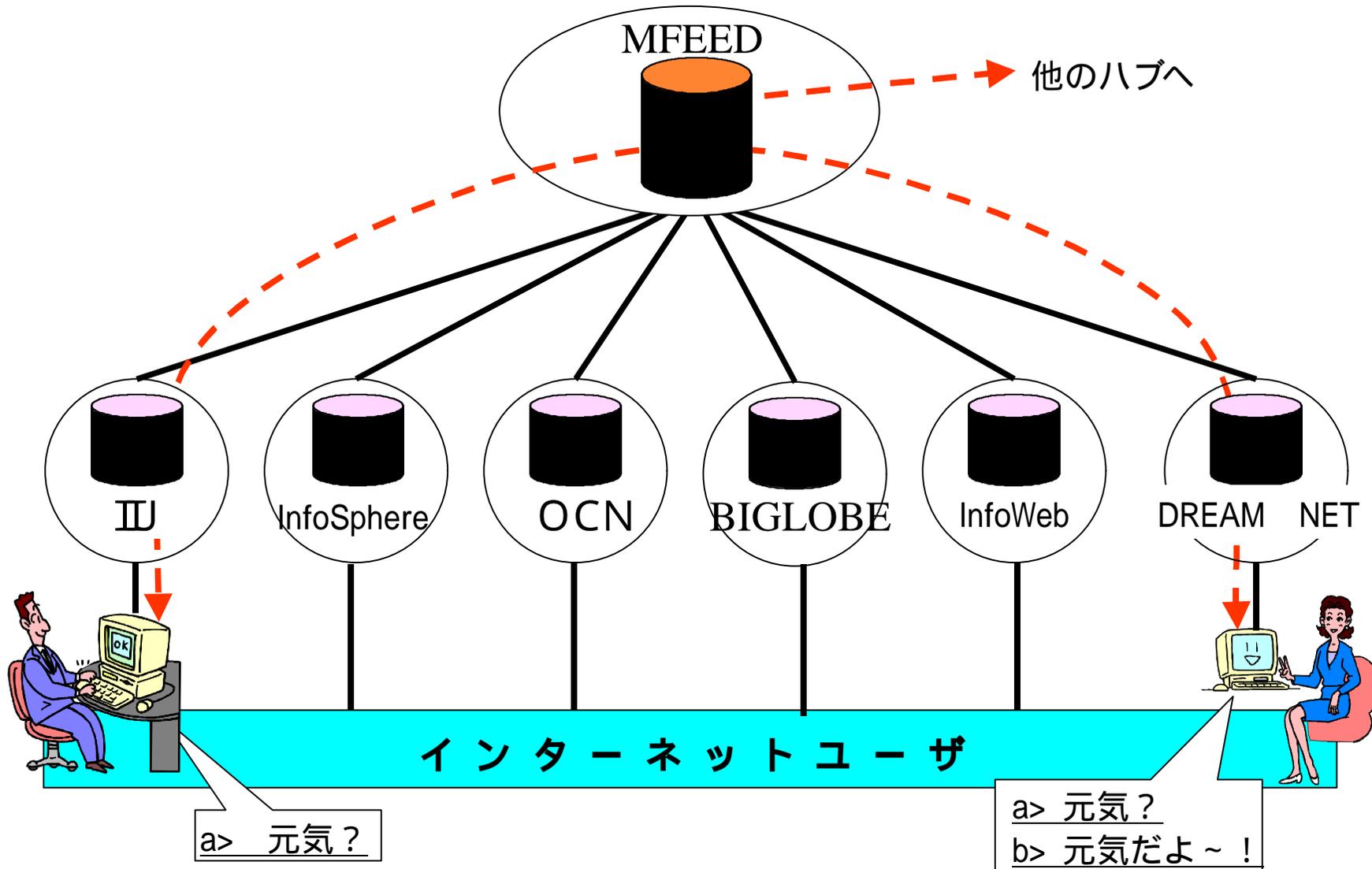
■ 背景

- チャットユーザの増加、それも商用ISPからの接続数が増加
- 商用ISPでも、自社のみでのチャットサービスでなく、より多くの人とコミュニケーションを図れる広範囲なチャット網の構築を検討する時期

■ 目的

- 商用ISPがIRCをサービスとして提供する場合の問題を探り、解決を図る
 - 運用、ユーザサポート
 - サブプロバイダとの接続、専用線ユーザ (企業など)への提供方法
 - ポリシー

参加ISPとネットワーク構成





参加ISP

■ 参加ISP

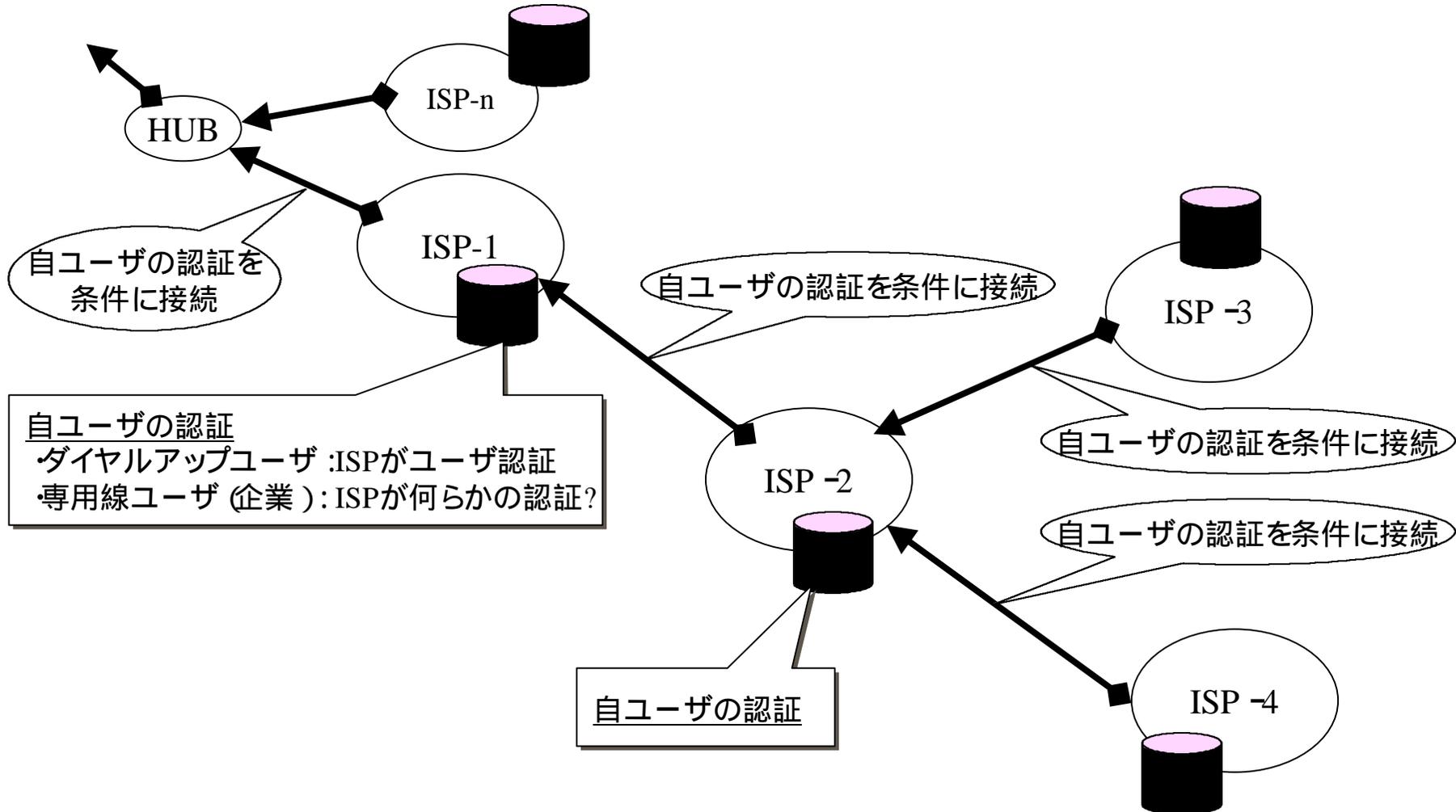
- 株式会社インターネットイニシアティブ (Iij)
- 株式会社エヌ・ティ・ティ ピーシー コミュニケーションズ(InfoSphere)
- 日本電気株式会社 (BIGLOBE)
- 日本電信電話株式会社 (OCN)
- 富士通株式会社 (InfoWeb)
- メディアバンク株式会社 (DREAM NET) (五十音順)

■ 参加

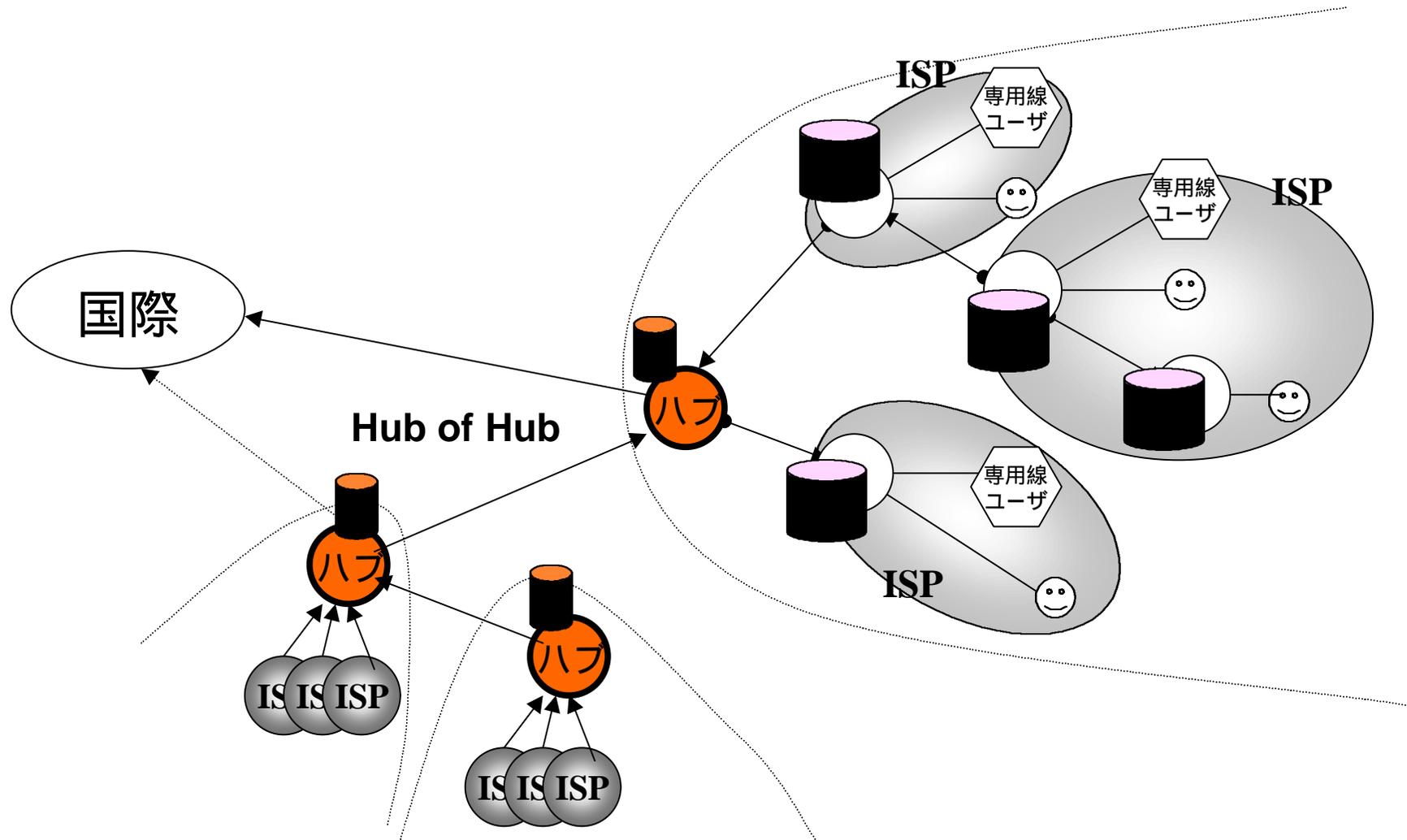
- クローズしているわけではない。
- 接続条件を守っていただければ参加はOK。



接続モデル



接続モデル



■ 重要な課題

■ 既存IRC網との接続

- ｜ ISPは、自社の利用者に対してサーバを提供するとともに、そのユーザサポートに責任を持つ。
- ｜ 公開サーバは、接続ユーザに対するサポートができないため設置しない。

■ 技術的問題

- ｜ サーバ数が増えすぎると安定しづらい
- ｜ ユーザの認証



■ どう折り合いをつけていくか



実験期間とJIRCC-ngとの関係

■ 実験期間

- 99年 1月開始を目途、99年 9月末に終了予定
 - この段階は、ダイヤルアップユーザに限定
- 99年 8月頃に、その後の進め方を検討する予定

■ JIRCC-ngとの関係

- 商用ISP側のハブの一つとして参加。
- 日本のIRC網の将来像 (最終形態と移行方式)が決まり、接続条件が合意され次第、接続する予定。